

## 四次産業社会に巨大転換する時代の出発



月尾 嘉男

先進諸国に分類される国々の最近の三次産業人口比率は70%近くであり、わずか50年前の約40%から一気に飛躍している。最近では情報通信、学術研究、医療福祉などを四次産業として独立させる傾向にあり、その比率が全体の約40%になっている。現在は100年単位の時代転換が急速に進行している。

械によって失業する人々が蜂起した社会運動であり、当初は社会に騒乱を発生させる原因になった。しかし、それを克服して世界の多数の国々が工業社会へと発展する契機ともなった。

現在、登場しはじめた生成AIがもたらす騒動は情報社会のラダイト運動に匹敵する21世紀の社会運動と理解するとめざすべき目標が浮上してくる。

先進諸国に分類される国々の最近の三次産業人口比率は70%近くであり、わずか50年前の約40%から一気に飛躍している。この飛躍を背後から後押ししているのが情報技術である。

最近では三次産業を細分し、電気水道、卸売小売、運輸郵便など二次産業に親和のある分野を除外した情報通信、学術研究、医療福祉などを四次産業として独立させる傾向にあり、その比率が全体の約40%になっている。

現在は100年単位の時代転換が急速に進行している最中だと理解し、個人、企業、地域が対応すべき時代である。

つきお・よしお 1942年生まれ。東京大学工学部卒業、東京大学教授、総務省総務審議官などを経て、現在は東京大学名誉教授。

までの様子を世界は逐一聴取することができた。

この2例は技術がもたらす犯罪の古典であるが、現在でも新規に登場する技術は新規の問題を発生させている。

犯罪に該当するかは微妙であるが、小説の盗作が話題になることがある。2024年に芥川龍之介賞を受賞した『東京都同情塔』は作家の九段理江が「全体の5%程度は生成AIの文章を使用している」と発言し話題になった。

昨年2月にアメリカで自費出版され、イギリスでは年末に刊行されて好評であったミア・バラードの小説『シャイ・ガール』は大手新聞が生成AIを利用した痕跡があると指摘し、著者本人は否定したが、生成

AI検出プログラムを開発している会社が分析した結果、全体の78%が生成AIによる文章であると発表して出版は停止された。

この2例は個別の作品に關係する事例であるが、業界全体の騒動も発生している。ハリウッドの脚本作家や俳優の労働組合は従来の待遇改善や収益配分の交渉とは別途、脚本製作や映像複製などにAIを使用することについて既存の権利を保護する労使交渉を実施した。当面は妥結したが、AIの急速な浸透にいつまで有効かは疑問である。

工業社会に自動織機が進出してきた19世紀前半に産業革命の先進国家イギリスでラダイト運動が発生した。これは機械破壊運動と意識されるように、自動機

1845年元旦にロンドンのパディントン駅事務室に郊外のスラウから電報が到達した。スラウで殺人をした犯人が7時42分着の列車の先頭座席に着席しているという内容であった。完全に高飛びに成功したと安心していた犯人は逮捕のために接近してきた警官に驚嘆した。社会には鉄道より高速の手段が存在することを証明した瞬間である。

1910年7月にロンドンで夫人を殺害した医師クリッペンが愛人の秘書とともにベルギーのアントワープから汽船モントローズでカナダのケベックに逃亡した。ロンドン警察の警部は高速の汽船でケベックに先回りして逮捕したが、暗号にしている無線で連絡していたため、追跡から逮捕